

生物多様性おかやまプラン（案）に係る  
意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

1 意見募集の概要

募集期間	令和7年11月27日（木）から令和7年12月26日（金）まで
閲覧場所	環境保全課、情報公開室、各区役所総務・地域振興課（北区役所を除く）、岡山市ホームページ
意見提出方法	持参、郵送、電子メール、ファクス、岡山市ホームページのご意見入力フォーム
意見提出先	岡山市環境局環境部環境保全課

2 意見募集の結果

意見提出者数 2名

意見件数 2件

No	該当箇所	ページ	意見の概要	対応策	対応分野
1	第4章	28	基本戦略に「生物多様性の拠点となるプラットフォームを作成」とありましたが、こういった拠点がリアルでもあればいいと思います。ここに行けば生き物や自然に関する情報が手に入ったり、観察会や自然体験の情報を知れたり、または同じような興味関心がある人と繋がることができました。自分で調べることができるプラットフォームの開設もぜひお願いしたいのですが、それだけだと一方向なので、双方向、あるいは多方向に広がるような場があればと思います。例えば既存の施設（里山センターやめだかの学校など）にそのような機能を持たせることは難しいでしょうか？先日行った香川県の「みんなでつくる自然史博物館・香川」では子どもから大人まで生き物好きの人々が自由に出入りして情報交換したり、一緒に外に出かけて行ったりしてとても楽しい場でした。こんな楽しい場が岡山にもあったらいいのと思います。	P28の「生物多様性の情報拠点」は、インターネット上のポータルサイトだけでなく、環境学習施設等の拠点としての活用も想定しており、「生物多様性に関わる情報拠点があり…」の部分で「生物多様性に関わる拠点があり」とし、行動目標3-2-2の施策欄に「環境学習施設等の拠点としての活用」を追記します。また、P31の「ポータルサイトを活用した生物多様性保全拠点づくり」を「環境学習施設等を活用した生物多様性保全の拠点づくり」に修正します。  生物多様性保全の拠点のあり方については、いただいたご意見を今後の施策の参考にさせていただきます。	意見を受けて計画を修正。  今後の事業施策の参考とする。
2	第4章	31	「ポータルサイトを活用した生物多様性保全拠点づくりを行います。」という言葉がありますが、実際に人がいる「なごや生物多様性センター」のようなものを目指してはどうでしょうか。ポータルだけでなく、名古屋のような事例のように、リアルな取組み拠点が必要だと思います。		